



さくらっ子

No. 4
R3. 5. 31発行
発行責任者
校長 小関 洋

【重点目標】 よさを見つけ 高め合おう

■ カモが来たぞ！

5月下旬の朝、昇降口に立っていると2羽の鳥が校舎前の田に舞い降りました。カモです。苗をよけながら？水面を動き回り、何度も首を水の中に入れ、口を動かしていました。水草や虫を食べているのでしょう。どんどん食べていいよと思いながら、15年前に「合鴨農法」で子どもたちと米作りをしたことを思い出しました。合鴨農法のメリットは「無農薬栽培」ができることです。子ガモが雑草や虫を食べたり、泳ぐことで土がかく拌され雑草が生えにくくなったりするのです。デメリットは、子ガモを飼う手間がかかることです。イタチやカラスから子ガモを守るため「柵」で囲ったり「テグス」を張ったりしなければなりません。夜に

寝る「小屋」も必要ですし、田の草や虫だけでは餌として足りないの、餌もあげなければなりません。このようなことから、合鴨農法は広がりませんでした。

ところで、あの2羽のカモは、桜丘小の前に田があることを知ってきたのでしょうか。それとも、移動途中にたまたま田を見つけ舞い降りたのでしょうか。翌朝、また会いたいと思いましたが、カモは現れませんでした。



本校は自然が豊かですね。

■ トマトやサツマイモ、ヘチマなど栽培活動進行中！

5月14日(金)に2年生がトマトの種を蒔きました。主任児童委員の田中様にポットや土を準備していただき、一人一ポット作りました。現在はかわいい芽が出ています。午後は、JA様の指導のもと、トマト・オクラ・ピーマン・ナスの苗を植えました。トマトの苗は匂いがあり茎に小さな毛があることやオクラの苗は背が高くなるので2本立てで植えていることなど、それぞれの特徴も学びました。



5月28日(金)には1年生がサツマイモの苗を植えました。茎の下部が紫色であることや茎が種の役割をしていることなどを教えていただきました。昨年幼稚園や保育園でも植えたよと教えてくれた子もいました。

田中様やJA様には、土や肥料まで準備していただき感謝申し上げます。

3年生は、ホウセンカやひまわり、オクラ、ピーマンを、4年生はヘチマを育てています。用務員の菊地さんにヘチマ用の網を2階のベランダから張ってもらいました。準備万端です。

どの学年もプランターでの栽培ですので、どのくらいの実ができるのか楽しみです。晴天の日が続く時は水をからさないよう気をつけたいですね。



■ 犯罪の起こりにくい地域作りを

防災教育として、4月に避難訓練を、5月にはJアラート訓練を行いました。子どもたちには、地震の際は頭を守ることや避難の際にはあわてず速やかに避難することなど、これまでの訓練がしっかり身につけていました。

5月26日(水)に、不審者侵入時の訓練を行いました。男が昇降口から入り訳の分からないことを言い始めるという想定です。事務室・職員室の職員で対応後、放送で避難や警戒態勢を指示しました。実施後、相馬警察署の方から子どもたちに次の指導をしていただきました。「命が一番大事。自分の命は自分で守ること。」そのために「いかのおすし」の行動や「110番の家」に逃げること。そして魔法の言葉が「あいさつ」でありとても効果があるということでした。つまり、あいさつをよく交わす地域は、犯罪がしにくいと思わせる効果があるとのことでした。

学校の立地条件上、不審者を完全に入れ込むことは不可能です。子どもはもちろんのこと、地域の方々同士でもあいさつを交わし合い、犯罪を起こりにくい地域作りをPTA全体で推進していきましょう。

